

第3回目グループ討議 6月11日(土)

討議内容

- ・私たちが公共施設で「やりたいこと」
 - ・「やりたいこと」のために自分たちが出来ること、関われること
 - ・公共施設の再配置
-

<A グループ>

1. 私たちが公共施設で「やりたいこと」

<小中学校>

- ・都市住民との交流、懇談会
- ・資料展示会、天体観測学習会
- ・健康麻雀、ゲートボール

<芋井支所>

- ・地域の会議
- ・自然災害学習会、地域で可能な対策講座
- ・都市との交流会

<公民館>

- ・歴史、地理の勉強、パソコン、料理教室
- ・子ども、大人の交流
- ・地域外との交流
- ・野菜の作り方講座

<保育園>

- ・読み聞かせ教室
- ・子育て相談

<体育館>

- ・スポーツ大会(バレー、卓球など)

■主な意見(一部)

- ・小中学校は教室も多いため、交流会等に活用できる。
- ・公民館は施設も充実しているため、様々な活用ができる。

2. 「やりたいこと」のために自分たちが出来ること、関われること

- ・主催(勉強会や交流イベント、会議やスポーツ大会など)
- ・講師(料理教室や地域の歴史などについて)
- ・参加(イベントなどに自ら参加し盛り上げる。料理教室などは、「教える→作る→食べる」という一連に参加など)

■主な意見(一部)

- ・ イベントについては住民が主催となることで一体感が期待できる。
- ・ 各住民の得意分野を活かして講師になることも可能。
- ・ 参加が大切。

3. 公共施設の再配置

取壊箇所： 保育園、児童センター、中学校、教員住宅

- ・ 「保育園」と「児童館」を小中学校に集約。機能は学校の空き教室などに移す。
- ・ 少子高齢社会を前提とした地域づくりが必要。老朽度や耐震補強などを考慮し、順次進めていく必要がある。重要なのは交通手段。施設が点在するのではなく、1つに集約できれば、交通網を作るのも容易になる。
- ・ 体育館は、大きな施設であり地域外からも利用者が集まるが、立地が悪く交通の便が悪い。そのため、小中学校に集約できれば利用者の交通（鍵の授受など）の負担も無くなると思われる。また、体育館や学校地域は駐車場が狭いという問題もある。そのため、体育館の耐震強化など整備を進めるとともに、中学校を取り壊し駐車スペースにするというのも良いのではないか。
- ・ 現在保育園に通っている園児たちは、芋井小学校だけでなく城山小学校に通う予定の子もいる。それだけ遠方から来ているということを鑑み、交通を容易にすることは重要。例えば、予算を組んでマイクロバスを購入し、地域内の循環バスにするなど、地域をよりよくするために自分たちで考え取り組まなければならないことはたくさんあると思う。

■主な意見（一部）

- ・ 小中学校の空き教室を活用すれば多くの機能を移動させることができる。
- ・ 体育館は小学校のものを活用する。
- ・ 保育園児は広いエリアから来ているため地域循環バス等の「足」の確保が大切。

<B グループ>

1. 私たちが公共施設で「やりたいこと」

<小中学校>

- ・運動会
- ・大人と子供の交流会、高齢者と子どもたちの懇談会

<芋井支所>

- ・講習会
- ・カラオケ
- ・クラフト作品の発表
- ・救急訓練

<公民館>

- ・各種教室（料理教室、書道教室、生涯学習、カルチャースクール等）
- ・会議（地区、芋井地区全体、同好会）

<社会体育館>

- ・地区対抗の体育大会（ソフトバレーボール）

■主な意見（一部）

- ・地域の懇親会（飲み会等）を公共施設で行いたい。場所は小中学校や公民館、支所が考えられる。
- ・世代を超えた交流を行いたい。小中学校で行えば、高齢者と子どもたちが交流できる。

2. 「やりたいこと」のために自分たちが出来ること、関われること

- ・イベントの主催
- ・先生となる「名人」の発掘
- ・リーダーシップをとり、行事の運営を行う。

■主な意見（一部）

- ・地区住民がイベントに関わっていくことが大切。
- ・各種教室の講師は探せば地元住民から選べるはず、確か書道の上手な人がいた。

3. 公共施設の再配置

取壊箇所：保育園、児童センター、社会体育館、教員住宅、消防詰所

- ・子ども用施設は小中学校に集中させる。
- ・公民館と支所は併用し、地元のイベントや交流会に使っていく。
- ・体育館は小中学校にあるもので充分。

■主な意見（一部）

- ・児童センターや保育園は小中学校に集約することができる。児童センターや教員住宅の跡地は駐車場にすれば良い。
- ・公民館と支所ではイベントや交流会を行う。交互に使うように分散させたい。
- ・社会体育館は駐車場も狭いため使いづらい。取り壊しても小中学校の体育館を使用すればよい。
- ・消防詰所は地域に必ず必要なものであるが、老朽化が進んでおり、傾き始めている。そのため支所に移転させてはどうか。

<C グループ>

1. 私たちが公共施設で「やりたいこと」

<小・中学校>

- ・夏に子供と泳げるプール
- ・スポーツジム
- ・スポーツ大会
- ・合宿所
- ・トレッキング

<支所>

- ・サテライトオフィス
- ・診療所
- ・6次産業を立ち上げて地域活性化活動
- ・特産品の販売
- ・料理教室

<体育館>

- ・施設を使ったプロジェクションマッピング
- ・文化祭
- ・天然プラネタリウム
- ・屋外シアター
- ・BBQ

■主な意見（一部）

- ・やりたいことは主に「スポーツ」、「特産品」、「イベント」に集約できる

2. 「やりたいこと」のために自分たちが出来ること、関われること

やりたいことがどこで行えるかの議論がまとまらなかったため自分たちが関われることの議論が十分できなかったが、例えば「スポーツ」などは自分たちがやるのか、外から参加者を呼び込むのかで関わり方が変わってくる、との意見が上がった。

■主な意見（一部）

- ・スポーツやイベントなどを通じて住民の一体感が生まれるような活動を仕掛けてみたい。

3. 公共施設の再配置

取壊箇所： 社会体育館、保育園、公民館

「やりたいこと」は主に「小中学校」「社会体育館」「支所」に集約できることが確認できたので、そのほかの施設の中で、公民館、保育園（保育園の機能は小中学校に移す）を廃止することとした。また、現在の社会体育館は駐車場が狭いなどの利便性に欠ける部分があるため、中学校の体育館を機能回復させることを前提に社会体育館は廃止し、「やりたいこと」は小中学校に集約することとした。

■主な意見（一部）

- ・現在の小中学校をうまく活用することで子供たちを見守りながら大人たちも活動できるような施設にならないか。

- ・ 社会体育館は駐車場が少なく、不便な面がある。
- ・ 「イベント」や「特産品販売」を行うのであれば支所や改善センターのような県道に面している施設が使いやすい。

<D グループ>

1. 私たちが公共施設で「やりたいこと」

「自分達（地域）のできること」の視点から検討した。

<小中学校>

- ・学校開放により施設や道具を使えるようにし、交流会やイベントの開催
- ・外国人（一校一国運動のリトアニア等）との交流

<芋井支所>

- ・フリーマーケットやりんごの直売会
- ・使用していない農機具などの展示会
（地元住民による活動）

<公民館>

- ・昔の遊び（ごむとび等、思い切り遊ぶ）
- ・育メン交流
- ・芋井カルタ

<保育園>

- ・「おじいちゃん・おばあちゃんによる本物の肝試し」
（お年寄りの活躍の場）

<体育館>

- ・スポーツ大会
- ・祭り（盆踊り等）

■主な意見（一部）

- ・第2回目と同じようなテーマであったため自分たちのできることの視点から検討した。
- ・お年寄りの活躍の場として、高齢者が幽霊となる肝試しを開催する。
- ・インバウンドを視野に入れて外国人との交流を積極的に行いたい。

2. 「やりたいこと」のために自分たちが出来ること、関われること

体育館、調理場等施設を有する小中学校に約8割の意見が集中した

■主な意見（一部）

- ・小中学校は、体育館や調理場、広大なスペースを保有している。
- ・これらの施設は有効に活用できそう。

3. 公共施設の再配置

取壊箇所：小中学校→小中学校以外の施設

議論の流れに関して

- ・意見の集中した小中学校の取り壊しを前提に討議を進めた。
- ・小中学校で行いたいことは他の施設でも代替可能。
- ・しかし、他施設に代替すると分散してしまう。
- ・そこで、逆に小中学校にすべての機能を集中させたほうが便利のため集約させる。

■主な意見（一部）

- ・ 行いたいことは、どこの公共施設でも可能。
- ・ 小中学校は広大なスペースがあるためすべて集約することが可能であり、一か所に集中させることで利便性が高まる。

<E グループ>

1. 私たちが公共施設で「やりたいこと」

<芋井小学校、中学校>

- ・農業体験、木材加工体験、山村留学
- ・スポーツ（サッカー、ゴルフ、スノースポーツ、町内トライアスロンなど）
- ・キャンプ、バーベキュー、星空観賞、魚釣り
- ・森林内での学習（動植物教育、地質学など）

<芋井支所>

- ・地元食材を食べたい。
- ・料理体験

<公民館>

- ・ボランティア
- ・友人と一緒に集まりたい。
- ・麻雀やゲームがしたい。
- ・映画鑑賞
- ・昔からの技術を学びたい。

<保育園>

- ・保育体験
- ・子ども用のイベント（体育祭、発表会）

■主な意見（一部）

- ・芋井地区内の豊かな自然環境を使った体験型の企画を実施したらどうか。
- ・野外型のスポーツ体験やキャンプ、星空観賞などは他地域から訪れる人には魅力的だと思う。

2. 「やりたいこと」のために自分たちが出来ること、関われること

- ・運営面でのボランティアとしての支援
- ・イベントの告知、集客など

■主な意見（一部）

- ・運営面でのボランティアとしての支援はできそう。
- ・大学内へのイベントの告知、集客面で協力できる。

3. 公共施設の再配置

取壊箇所：児童センター、公民館、教職員住宅

- ・公民館で行いたいことを、芋井支所への集約することができると思う。支所に移した理由については、公共バスが通っているなど車以外での交通手段でも利用できる点を考慮した。
- ・教職員住宅については、現在利用が少ない点を踏まえ、取り壊しとした。長野市から芋井地区まで片道20分程で車通勤できることもあり、長野市に在住する人が多い点を理由とした。
- ・児童センターについて、「したいこと」が何も挙がらなかったため、取り壊しとした。

■主な意見（一部）

- ・高齢者が多い地域特性を踏まえると、バスなどの交通手段が確保される施設への集約が現実的では

ないか。

- ・ 現状、利用が少ない施設や今後も利用が見込めない施設についても、取り壊すことも将来的な選択肢となると思う。

以上